



ファルケ博士  
ラッセル・ブラウン  
バリトン

「力強い爆発も、やさしく霞む音符も歌いこなす」（トロント・スター紙）輝く明るい声で知られ、演奏会、オペラ、リサイタルなど世界の舞台で活躍。《中国のニクソン》周恩来、ビリー・バッド、《戦争と平和》アンドレイ公爵、フィガロ、パパゲーノ、アルマヴィーヴァ伯爵、ドン・ジョヴァンニ、ペレアス、エフゲニー・オネーギン、《ヴェニスに死す》旅人の知的で考え抜かれた描写で観客を魅了。2019/20年の主な出演は、カナディアン・オペラ・カンパニー《ヘンゼルとグレーテル》ペーター、エクサンプロヴァンス音楽祭《コジ・ファン・トゥッテ》グリエルモなど。

最近の主なオペラ出演は、カナディアン・オペラ・カンパニー《コジ・ファン・トゥッテ》ドン・アルフォンソ、ミシガン・オペラ・シアター《ヘンゼルとグレーテル》ペーター、ルミナート・フェスティバルのオルベリー演出によるアイスラー《Hell's Fury, The Hollywood Songbook》、ザルツブルク音楽祭《バッカスの巫女》ペンテウス、アン・デア・ウィーン劇場《老婦人の訪問》アルフレッド、カルガリー・オペラ《セビリャの理髪師》フィガロなど。また、トロントのフォーシーズンズ・センターでカナディアン・オペラ・カンパニーの新制作《ルイ・リエル》のタイトルロールを歌い、オタワでもカナダ建国150周年記念の一環としてナショナル・アーツ・センター管との共演で同役を歌った。

演奏会ではアトランタ響、トロント響、モントリオール響、デンマーク国立響、ヒューストン響など世界的指揮者やオーケストラと定期的に共演。現代音楽のレパトリーに親しみ、ローマ、ロンドン、ノルウェー、スウェーデンでエトヴェシュ《無血》、ロンドンでBBC響とディーン《Knocking at the Hellgate》、シュトゥットガルトおよびフライブルク放送響とサーリアホ《「遙かなる愛」より5つの黙想》を共演。

録音はグラミー賞ノミネートの《大地の歌》（Dorian）、ジュノー賞受賞の「Mozart - Arie e Duetti」（CBC）、ヘンデル《アポロとダフネ》、ジュノー賞ノミネートの《冬の旅》（CBC）など。